高等学校 令和6年度(1学年用) 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションエ

教 科: 外国語 科 目: 英語コミュニケーション I 単位数: 3 単位

対象学年組:第 1 学年 A 組~ EK 組

**教科担当者:( γ組:杉山 ( β組:小林 ( β組: ( α組:杉山** (組: ) (組:

使用教科書:( 『LANDMARK Fit』啓林館

教科 外国語 の目標:

・語いやフレーズを理解し、適切な表現として使用することができる。
・正しい語順や文型、語法などの文法事項をふまえて、適切な表現にすることができる。
・必要な情報を、正確に聞き取ることができる。

【知 識 及 び 技 能 】・ある分量の英文を読んで、必要な情報を正確に読み取ることができる。
・間違いやすい音に留意して、正確な発音やアクセントを用いて教科書本文の音読ができる。
・相手に配慮しながら、コミュニケーションを継続することができる。
・既習の文型や語法、適切な文章形式をふまえて、英文を正確に書くことができる。

・話された内容の概要・要旨を聞き取ることができる。 ・ある分量の英文を読んで、その大意を読み取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】・聞き手を説得できるように論理的に自分の意見を述べることができる。 ・相手が話したことに対して質問をしたり、答えたりしながら議論を継続することができる。 ・順序や論理展開を意識してまとまった分量の文章を書くことができる。

・英語で進められる授業に参加し、言語活動に積極的に参加することができる。 【学びに向かう力、人間性等】・文化・歴史・社会等の課題について積極的に考え、自らの生き方の向上に取り組むことができる。 ・自己の学習を振り返り、常に改善・向上の態度を持つことができる。

## 科目 英語コミュニケーション I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・語いやフレーズを理解し、適切な表現として使用することができる。 ・必要な情報を、正確に聞き取ることができる。 ・ある分量の英文を読んで、必要な情報を正確に読み取ることができる。 ・間違いやすい音に留意して、正確な発音やアクセントを用いてながら、コミュニケーションを継続することができる。	・ある分量の英文を読んで、その大意を読み取 ることができる。	極的に参加することができる。

領域

					限場							
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	A 単元 〈聞くこと〉これからの高校生活でいる。 「関心があることについての話を聞いて必要な情報を聞き取り、話し手の意とといった。 「意図を犯握する。 〈読むこと〉高校生活における章を読むについて書かれている文章を記をいて書かれている文章を表え、本の表の表の表の表の表の表の表の表の表を表った。	・教材 LANDMARK Fit English Communication I Target1100 ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0		(知識) 自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる語彙や表現を理解している。 (技能) 自分が挑戦してみたいことについて,情報や考え,気持ちなどを,理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	0	0	0	10
1	B 単元 〈聞くこと〉好きなカレーについて の会話から必要な情報を聞き取り、 話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉カレーの歴史と現在の 様子について文章を読んで、公 な情報を読み取り、概要を捉える。 また、文章を通して受動態や現在完	・教材 LANDMARK Fit English Communication I Target1100 ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	《知識》自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる語彙や表現を理解している。 (技能)自分のカレーの好みについて、情報や考え、気持ちなどを、理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	0	0	0	10
学	定期考査			0					$\circ$	0		1
期	〈読むこと〉学校の制服についての	・教材 LANDMARK Fit English Communication I Target1100 ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	〈知識〉自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる話彙や表現を理解している。 〈技能〉学校での制服の着用について、情報や考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	0	0	0	10
	D 単元 〈聞くこと〉日本の世界遺産につい てのスピーチを聞いて必要な情報を 聞き取り, スピーチの要点を捉え	・教材 LANDMARK Fit English Communication I Target1100	0	_	0	0	0	〈知識〉自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる語彙や表現を理解している。 (技能)日本の世界遺産について、情報や考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。		0	0	10
	7277 3 11			0				Tr. 200 - 1 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 - 10 -	0	0		1
	E 単元 〈聞くこと〉ファシリティドッグ導 入に賛成か反対かについての会話を 聞いて必要な情報を聞き取り,話し 手の意図を把握する。	・教材	0	0	0	0	0	〈知識〉自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる語彙や表現を理解している。 〈技能〉病院にファシリティドッグがいることについて,情報や考えを理由とと	0	0	0	10

	(読むこと) ファシリティドックに ついての文章を読んで必要な情報を 読み取り, 要点を捉える。また, 不		等						もに話して伝える技能を身に付けてい る。				
	〈読むこと〉世界の非言語コミュニケーションについて書かれている文章から必要な情報を読み取り、要点	・教材 LANDMARK Fit English Communication I Target1100	等	0	0	0	0	0	知識〉自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる語彙や表現を理解している。 (技能〉自分が興味のある非言語コミュニケーションについて、情報や考えを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	0	0	0	10
2	定期考査				0					0	0		1
学 期	(関くこと) インターネットの活用 方法について話している会話を聞い て、必要な情報を聞き取り、話し手 の意図を聞き取る。 〈読むこと〉、バナの平和への思いと ソーシャルメディアを利用した平和 活動についての文章から必要な情報	・教材 LANDMARK Fit English Communication I Target1100 ・一人 1 台端末の活用	等	0	0	0	0	0	(知識) 自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる語彙や表現を理解している。 (技能) インターネットの活用について、情報や考えを理由とともに話して伝え合う技能を身に付けている。	0	0	0	10
	〈読むこと〉社会起業家について書 かれた文章を読み、必要な情報を読 み取り、概要を捉える。また、less を用いた比較の表現、知覚動詞を用	・教材 LANDMARK Fit English Communication I Target1100	等	0	0	0	0	0	《知識》自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる語彙や表現を理解している。 〈技能〉将来自分がなりたい職業について、考えや気持ちを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	0	0	0	10
	定期考査				$\circ$					$\circ$	$\circ$		1
	I単元 〈聞くこと〉宇宙エレベーターで宇宙に行けたらしてみたいことについて話されている会話から必要な情報を聞き取り,話し手の意図を把握する。 〈読むこと〉宇宙エレベーターについての文章を読み、必要な情報を読	·教材 LANDMARK Fit English Communication I Target1100	等	0	0	0	0	0	《知識》自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる語彙や表現を理解している。 〈技能〉宇宙エレベーターで宇宙に行くことができるとしたらしてみたいことについて、考えや気持ちを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	0	0	0	10
3 学期	ソードを聞いて, 必要な情報を聞き	LANDMARK Fit English Communication I Target1100	等	0	0	0	0	0	(知識) 自分の考えや気持ちを話して伝えるために必要となる語彙や表現を理解している。 (技能) 友情の大切さについて、考えや気持ちを理由とともに話して伝える技能を身に付けている。	0	0	0	10
	定期考査				0					0	0		1
													合 計 105
													100

## 年間授業計画 新様式例 科目 論理・表現 [ 教科 外国語 の目標:

・話された内容の概要・要旨を聞き取ることができる。 ・ある分量の英文を核べて、その元を接換り取ることができる。 ・ある分量の英文を核べて、その元をを検決的なことができる。 ・間き手を終すさるように強調的に自分の要とを述べることができる。 ・相手が話したことに対して質問をしたり、答えたりしながら議論を継続することができる。 ・側下や強張風間を整備してままった分量の次章を含ことができる。

- 英語で進められる授業に参加し、言語活動に積極的に参加することができる。 「学びに向かう力、人間性等」 ・文化・歴史・社会等の課題について積極的に考え、自らの生き方の向上に取り組むことができる。 ・自己の学習を振り返り、常に改善・向上の態度を持つことができる。

## 科目 論理・表現 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
・語いやフレーズを理解し、適切な表現として使用することができ			
る。	見を述べることができる。	積極的に参加することができる。	
・正しい語順や文型、語法などの文法事項をふまえて、適切な表現			
		考え、自らの生き方の向上に取り組むことがで	
・間違いやすい音に留意して、正確な発音やアクセントを用いて教			
	文章を書くことができる。	・自己の学習を振り返り、常に改善・向上の態	
・相手に配慮しながら、コミュニケーションを継続することができ		度を持つことができる。	
る。			
・既習の文型や語法、適切な文章形式をふまえて、英文を正確に書			
くことができる。			

-					領均	e			_	_	_	一
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	関語「や」	話〔発〕	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	認識 Sautr home, meant city は記述 海子会社学会 は記述 海子会社学会 報義 希望任氏え、スケジュールを相談したがら決めることができる。 報金を終れ、自分たり時に食立つか越し分うことができる。 ポテ会についての感恩をプログの日記に書くことができる。 世界の場合に繋いて反す方 即手の関する契約を伝える	・指導事項 Unit1 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	1. 評価の拠点 【知識・技能】外国語の学習を通じて、言 語の働きや製物などを理解している。 外国語の技能(話すこと、書くこと)に いて、実際のコミュニケーションにおいて 活用できる知識・技能を身に付けている。	0	0	0	4
	が設備日本になり、如何「ははTere of our town はなます。 はな、まず。 はな、まず。 動きを見ながら間違んの優化し、小で説明することができる。 通りを見ながら間違んの優化していて説明することができる。 様化情報やアーケイサルカウェブの広告文を楽くことができる。 様便 期間に関することを言う。	・指導事項 Unit2 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【思考力・判断力・表現力】場面・目的・ 状況等に応じて、日常的や社会的な話題に ついて、情報や考えなどを外国語で的能に 理解したり適切に伝え合ったりしている。 聞いたり読んだりしたことなどを活用し て、自分の意見や考えなどを話したり書い たりして表現している。	0	0	0	4
	定期老者							【主体的に学習に取り組む態度】他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に				Ш
1	於顧 Pranaring for a natural director	<ul><li>- 指導事項</li></ul>		0				配慮しながら、外国語で聞いたり読んだり したことを活用して、自分の意見や考えな どを話したり書いたりして表現しようとて	0	0	L	1
<b>与</b> 其	文法 助動詞	Unit3 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	いる。 2. 評価方法		0	0	5
	振聞 Water supporting our lives 文法 受難器 機能 相手があったい情報について説明することができる。 問題に対象するための道具を紹介することができる。 理解に対象するための道具を紹介することができる。 選集を参与が表示しませる。 田子の発言を明確に背近する	・指揮事項 linit4 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト: 発表 (スピーチ・ブレゼンテーション) ・ディベート・ディスカッション (c) ノート・ワーク・レボート等の提出物	0	0	0	4
	定期考查			0			H	(d) ペーパーテスト:小テスト・定期考査 等	0	0	H	1
	規則 Sur Food you can still est! 近日 不定期 機能 お近いの状況を解答えて問題解決の結論を出すことができる。 構能を振うしたができる。 プードンとで開発を支援することができる。 プードンとで開発を支援することができる。 混る相手スと呼呼にするから、 はを開まると呼呼にするから、 はを開まると呼呼にするから、 は、 のである。 は、 のである。 は、 のである。 は、 のである。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のでる。 のでる。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 のである。 ので	・指導事項 Unit5 ・数材 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【評価結果】 (3): おおむね満足できる状況 B(2): 十分満足できる状況 C(1): 努力を要する状況	0	0	0	4
	が簡単な、con we become more health connacions? は 無名類 は 無名類 構造 自分の生活質響を確認し、変えたい習慣を伝えることができる。 相差 自分の生活質響を確認して変えることができる。 生活質数のは、ついての意見をウェブの場所収し書くことができる。 表質数のは、こっていることを示す 構造していることを示す。	・指導事項 Unité ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0		0	0	0	3
2				0			H		0	0		1
与其		・指導事項 Unit7 ・数析 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0		0	0	0	5
	基題 Bor do you decide which products to boy? 又注 比較 現象 おすずめの最高を検験したがら紹介することができる。 現象 おすずめの場面を検験したがら取りすることができる。 フェアトレード機能のよとをプログで発信することができる。 対象 関係を扱いことを関係を指 由于の発言の直接を確認する。	・指導事項 Unit8 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0		0	0	0	4
	定期考查			0			H		0	0	H	1
	が題 A variety of ways to improve your English は	・指揮事項 Unit9 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人1台端末の活用 等	0		0	0	0		0		0	5
3 与其	旅のエピソードを聞いて問題の解決策を話し合うことができる。     は関し個単々に近立のパンフレットの文章を書くてしができる。	・指導事項 Unit10 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression I ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0		0	0	0	5
	定期考查			0			H		0	0	L	1
		<u> </u>		_	<u> </u>	<u> </u>	<u>L</u>		10		<u></u>	合
												計 48

高等学校 令和6年度(2学年用) 教科 外国語 科 国語 科 目:英語コミュニケーション II 単位数: 4 単位 科目 英語コミュニケーションエ

数 科: 外国語 科 目: 英語コミュニケーションII 対象学年組:第 2 学年 A 組 - EK組 教科担当者: (γ組: 杉山 ) (β組: 阿由葉) (α組: 小林)

教科担当者: ( γ 組: 杉山 ) ( β 組 使用教科書: ( 『LANDMARK Fit』 啓林館

教科 外国語

の目標:

・語いやフレーズを理解し、適切な表現として使用することができる。
・正しい語順や文型 語法などの文法事項をふまえて、適切な表現にすることができる。
・必要な情報を、正確に聞き取ることができる。
・必要な情報を、正確に問き取ることができる。
・の過いやすい音に関意して、必要な情報を正確に読み取ることができる。
・問途いやすい音に関意して、正確な発音やアクセントを用いて教科書本文の音読ができる。
・相手に配慮しながら、コミューケーションを魅力することができる。
・既習の文型や語法、適切な文章形式をふまえて、英文を正確に書くことができる。

・話された内容の概要・要旨を開き取ることができる。 ある分量の英文を務めて、その大意を誘わ取ることができる。 ある分量の英文を務めて、その大意を誘わ取ることができる。 ・間等手を指揮できるように動産的に自分の意思を述べることができる。 ・相手が話したことに対して質問をしたり、毫太とりしながら議論を継続することができる。 ・順手や論理原則を意識してまままった分量の文章を著くことができる。

・英語で進められる授業に参加し、言語活動に積極的に参加することができる。 【学びに向かう力、人間性等】・文化・歴史・社会等の課題について積極的に考え、自らの生き方の向上に取り組むことができる。 ・自己の学習を扱い扱り、第二に歌き、向上の数度を持つことができる。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

: 【思考力、判断力、表現力等】
・話された内容の概要・要旨を聞き取ることができる。
・ある分量の英文を読んで、その大意を読み取ることができる。
・相手が話したことに対して質問をしたり、答えたりしながら議論を継続することができる。 【学びに向かう力、人間性等】
・英語で進められる授業に参加し、言語活動に 積極的に参加することができる。 ・文化・歴史・社会等の課題について積極的に 考え、自らの生き方の向上に取り組むことができる。 ・自己の学習を振り返り、常に改善・向上の態 度を持つことができる。 科目 失語コミュニケーションⅡ の目標:
【知識及び技能】
・語いやフレーズを理解し、適切な表現として使用することができる。
・必要な情報を、正確に聞き取ることができ ・必要な情報を、正確に関さ取るしてか、こと。 ・ある分量の英文を読んで、必要な情報を正確に読み取ることができる。 ・間違いやすい音に留意して、正確な発音やアクセントを用いて教科書本文の音読ができる。 ・相手に配慮しながら、コミュニケーションを継続することができる。

			Т		領均	ŧ			Т	Γ	Τ	Т
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話「や」	話「発」	書	評価規準	知	思	想	配当時数
	は、日本のアニター機画、およびスタューデン人機画家の機画について、一定の文質を招手した。 現象で表したど他型数することができる。 これで、一定の文質を用すれて、一定の文質を用すれて、一定の文質を用すれて、一定の文質を用すれて、一定の文質を用すれて、一定の文質を用すれて、一定の文質を用すれて、一定の文質を用すれて、多様な形分で、一定の文質を用すれて、多様な形分で、一定の文質を用すれて、多様な形分でを用すれて、多様な形分でを用すれば、多様な形分でを用すれば、多様な形分でを用すれば、多様な形分でを用すれば、多様な形分でを用すれば、多様な形分でできる。 これできる。 これでは、 これできる。 これできる	・指導事項 Lesson1 ・教材 LANDMARK Fit English Communication II Target1900 ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	(知識) スウェーデン人漫画家の漫画に ついての情報や考えなどを話して伝える ために必要な話を業や表現を理解してい る。 (技能) スウェーデン人漫画家の漫画に ついての情報や考えなどを論理性に注意 して詳しく話して伝える技能を身に付け ている。	0	0		) 1:
	10 間にこと 大機能、おはだコウテイベンギンについ で、一定の技術を開井されば、必要な情報 を耐き取り、ことができる。 を耐き取り、ことができる。 となど機能することができる。 となど機能することができる。 フェダの場間、メリカーを使みなどの となり、大量の場別、およびコウテイベンギンについて、一定の及び が成野や領圧としているようでもありませんができる。 しているオートとしているようでも取りを機がある。 が成野や領圧となったの支援を信仰すれば、を とができる。 の 海ボーとしている力・やの取り が成野や領圧となった。 海域やからからなどを とができる。 は、またしているようでもなどを とができる。 は、またしているようでもなどを とができる。 は、またしては、などを とができる。 は、またしては、などを とができる。 は、またしては、などを とができる。 は、またしては、などを とができる。 は、またしては、など、 は、またしては、などを とができる。 は、またしては、などを では、またしていて、ことができる。 は、またしては、またしては、 は、またしなできる。 は、またしなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできなできな	・指導事項 Lesson2 ・教材RK Fit English Communication II Target1900 ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	(知識) 興味のある動物についての情報 や考えなどを話して伝えるために必要な 語彙や表現を理解している。 (技能) 興味のある動物についての情報 や考えなどを離埋性に注意して詳しく話 して伝える技能を身に付けている。	0	0	C	) 1:
1 学	定期考查			0					0	0	)	1
期	(1) 関くこと 学校の情極的熱、および日本が持る文化に ついて、一定の支援を活用すれば、必要な 学校の情極的熱、および日本が持る文化に ついて、一定の支援を活用すれば、必要な 機能を開発した。 (2) 護力とあることができる。 (3) 護力とあることができる。 (4) 変から、一定の支援を活用すれば、必要な 対策を必要な情報を表現な ついて、一定の支援を活用すれば、多要な が、一定の支援を活用すれば、多な はいては、一定の支援を活用すれば、多な はいては、ないでは、では、では、ないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	- 指導事項 Lesson3 - 教材 LayMMAK Fit English Communication II Farget1900 - 一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	知識)日本が誇る文化についての情報 や考えなどを話して伝えるために必要な 部業や表現を理解している。 技能)日本が誇る文化についての情報 や考えなどを論理性に注意して詳しく話 して伝える技能を身に付けている。	0	0	C	113
	(1) 個人こと を単化に強人にいもの、および興味・情熱 のあるものについて、一定の支援を活用する には、必要が情報できなり、話し手の意 には、必要が情報できなり、話し手の意 には、必要が情報できなり、話し手の意 には、必要が情報できない。 には、必要な情報できない。 には、必要な情報できながというで、一般な の、新すこと「いるのながまなどを把握することができる。 の、新すこと「いるのながまなどを把握することができる。 の、新すこと「いるのながまなどをが にいいて、一定の乗り」 では関しているのながまない。 にいいて、一定の要なら 様とでは、といいのないまない。 にいいて、一定のない。 は、一般では、一般では、 は、一般では、 は、 の、に、 の、は、 の、まない。 の、まない、 の、、 の、、 の、、 の、、 の、 の、 の、 の、 の	・指導事項 Lesson4 ・教材 LANDMARK Fit English Communication II Target1900 ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	(知識) 興味・情熱のあるものについて の情報や考えなどを話して伝えるために 必要な語彙や実現を理解している。 (技能) 興味な・情熱のあるものについて 情報や考えなどを論理性に注意してご しく話して伝える技能極身に付けてい る。	0	0	C	)) 1:

_												
	(1) 両くこと 総合・等・特性、およびガウディと外尾機 部について、一定の支援を活用すれば、必 東皮情報を開発することができる。 カッディと外尾機能について、一定の支援 を活用すれば、必要が信頼を認み取り、 を活用すれば、必要が信頼を認み取り、 を活用すれば、必要が信頼を認み取り、 を活用すれば、必要が信頼を認み取り、 なの実施、概要が信頼を認み取り、 なの実施、概要が信頼を認み取り、 なの実施、概要が信頼を認み取り、 なの実施、概要が信頼を認めて は、多様ないので、一定の支援を用すれ は、多様ないので、一定の支援を用すれ などを記して協立でも分やの取りを被 (4) 話すこと (5巻封) (4) 話すこと (5巻封) (4) 話すこと (5巻封) (5) 話すたと (5巻封) (5) 蓄くことができる。こができる。 (5) 蓄くことができる。 (5) 蓄くことができる。 (4) 衛本などを編集性にむ意して詳 (5) 蓄くことができる。 (4) 衛本などを編集性にむ意して詳 (5) 蓄くことができる。 (4) 衛本などを編集性にむ意して詳 (5) 蓄くことができる。 (4) 衛本などを編集性にむ意して詳 (5) 蓄くことができる。 (6) 第一次の表がなどを編集性にも意して詳 (6) 第一次の表がなると述を述をままななると述をままななると述をままななると述をままななると述をままななると述をままななると述をままななると述をままななると述をままななるとなると述をままななるとな	・指導事項 Lesson5 ・教材 LANMARK Fit English Communication II Target1900 ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	(知識) 印象に残る歴史的雑造物についての講像や考えなどを話してに入るためにと話りて伝えるために必要な語彙や表現を歴史的建造物についての情報の日象に残る歴史的建造物についての情報というなどを論理に注意している。	0	0	0	13
	(1) 関くこと エア時代、および「もったいかい」と感じ もものについて、一定の支援を居用すれ は、必要が特を関係的、能計・中の意 図、概要や要点などを把関することができ の、変なった。 エア時代のリサイクル社会について、一定 の支援を活用すれば、必要を情報を読み取 り、文章の原制、概要や要点などを把関す り、文章の原制、概要や要点などを把関す 1、多事での原制、概要や要点などを把関す 1、第一年の支援を活用すれば、必要な活動を活動しては、多様に動助や大之用がて、信頼等や考を検 (4) 話すことに至る美) 「もったいかい」と感じるものについて、 立ちことができる。 (4) 話すことに至美) 「もったいかい」と感じるものについて、 立ちことができる。 (5) 書くこと 「もったいかい」と感じるものについて、一定 の支援を活用すれば、多様を活動や注意して に対して詳しく解 の支援を活用すれば、多様を活動や注意して に対して紹えることができる。 「もったいかい」と感じるものについて、一定 して詳しく解 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	・指導事項 Lessond。 教材 LANMARK Fit English Communication II Target1900 ・一人1台端末の活用 等	0		0	0	0	(知識) 「もったいない」と感じるもの についての情報や考えなどを話して伝え るために必要な話彙や表現を理解してい る。 (女能) 「もったいない」と感じるもの についての情報や考えなどを論理性に注 返して詳しく話して伝える技能を身に付 けている。	0		0	
2 学期	(1) 聞くこと 指のクリーン化、おおび持続可能な何づく りについて、一定の支援を活用すれば、必 実を重点などを把握すっことができる。 出田環生の財際とその後の取り組みについ、 、一定の支援を活用すれば、必要な信頼と で、一定の支援を活用すれば、必要な信頼と で、一定の支援を活用すれば、必要な信仰 と数数り、支票の機能、類乗く要点など (3) 話すことでり取り1 折のクリーン化、および特減可能な方は「多 様と駆りが大を用いて、対策を開始ですななどを よができる。 (4) 話すこと 発表) が終可能な付すれば、多様を節句大文を行用して が表するとなるとができる。 (5) 書くことができる。 (6) 話すこと 発表) が最初である。 (7) また、と、と、と、と、と、に、一定の支援 を活用すれば、多様を節句大文を用いて、一定の支援 はして伝えるとしができる。 が書の能な行力について、一定の支援 はして伝えるとなって、一定の支援 を高力すれば、多様を節句大文を用いて (5) 書のと、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、と、	・指導事項 Lesson* ・数材 LANMARK Fit English Communication II Target1900 ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	(知識) 持続可能な街づくりについての情報や考えなどを話して伝えるために必要な事能や表現を理解している。 (技能) 持続可能な街づくりについての情報や考えなどを論理性に注意して詳しく話して伝える技能を身に付けている。	0	0	0	13
	(3) 関くこと A1ロボット、およびA1と共存する未来について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を開き取り、ことができる。 A1とを把握することができる。 A2とを把握することができる。 A2とを把握することができる。 A2とを把握することができる。 A1に共存する未来について、一定の支援を活用すれば、必要な情報を認み取り、文章の関係。環を学点などを把握することができる。 A1にボット、近くが日本では一般で与えなとないで、一定の支援を活用すれば、多様な出り、で、一定の支援を活用すれば、多様な出りが、一定の支援を活用すれば、そり、「A1に対する。」 A2というで、「個で考えなとができる。 A1に対する。A2というで、こので、大きない。A2というで、A2といういうで、A2というで、A2というで、A2というで、A2というで、A2というで、A2というで、A2というで、A2というで、A2という	- 指導事項 Lessons - 教材 LANMARK Fit English Communication II Target1900 - 一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	(知識) AIと共存する未来についての情 雑や考えなどを話して伝えるために必要 な話像や表現を理解している。 (技能) AIと共存する未来についての情 領や考えなどを論理性に注意して詳しく 話して伝える技能を身に付けている。	0	0	0	13
	定期考查			0					0	0		1
	(1) 耐くこと 非似の できまって おまび 要素による 事業につい マ、一定の 対数を活用すれば、必要な情報 で まったり と思う取りまった とができる。 まかま かまった とができる。 まかま ない まかま まかま ない まかま まかま まかま まかま まかま まかま まかま まかま まかま まか	・指導事項 Lesson9 ・教材 LANMARK Fit English Communication II Target1900 ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	(知識) 英語による発表を行うにあたり、情報や考え、気持ちなどを話して伝えるために必要な脂酸や表現を理解しているない。 英語による発表を行うにあたり情報や考え、気持ちなどを論理性に付けている。	0	0	0	13
3 学期	要点などを把握することができる。 (2) 読むこと	- 指導事項 Lesson10 - 数材 LANMARK Fit English Communication II Target1900 - 一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	知識)特別な人への手紙を書いて発表 するにあたり、情報や考え、保持ちなど を話して伝えるために必要な語彙や表現 を理解している。 (技能) 特別な人への手紙を書いて発表 するにあたり、意して詳しく話して伝える 技能を身に付けている。	0	0	0	13
	定期考査		L	0	Ħ	Ħ			0	0	L	1
		-										合計
												135

年間授業計画 新様式例

		高	等学	校(	育和(	3年度	(2学	年用)	教科			4	外国語			科	目	論理:	表現	見Ⅱ		
教	科:	外国語	i		科	目:			論理表現:	I			単位数	: 2	Ě	単位						
対	象学年紀	且:第	2 学年	₹ A	組~			B 組														
教	科担当	<b>š</b> :(	α組:	阿田	主葉	)				(	β組:小	林	)			( 糸	1: 1		)	( #	组:	)
使.	用教科書	書: (	[FACT	B00K	Engl	ish Log	ic & Exp	ression I	』桐原書店	5								)				
教	科外	国語						の目標	₹:													
	【知	識	及 び	技能	: : :	正しい語のといい語のといい語のといい語のはないである。分量に配相手に配	順や文型、 報を、正 の英文を すい音に 慮しなが	、語法などの 確に聞き取る 読んで、ひて、□ ら、コミュニ	D な表現まで表現まで表現事ができまれている。 こな情な発生が報発をはないできませる。 ではないでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ふる確アを継	えて、適切 売み取るこ セントを用 売すること	な表現に とができる いて教科 ができる。	することが る。 書本文の音	読ができ	きる。							
	【思考	力、判	断力、	表現力	等】 : :	ある分量 聞き手を 相手が話	の英文を 説得でき したこと	読んで、その るように論理 に対して質問	き取ること  大意を読み  的に自分の  をしたり、   まった分量	取るこ 意見を	ことができ を述べるこ たりしなが	とができる ら議論を	継続するこ	とができ	÷る。							

・英語で進められる授業に参加し、言語活動に積極的に参加することができる。 【学びに向かう力、人間性等】・文化・歴史・社会等の課題について積極的に考え、自らの生き方の向上に取り組むことができる。 ・自己の学習を振り返り、常に改善・向上の態度を持つことができる。

# 科目 論理表現Ⅱ

科目	論理表現Ⅱ の目標:		
	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
る・に・科・る・の。正す間書相。既	しい語順や文型、語法などの文法事項をふまえて、適切な表現 ることができる。 違いやすい音に留意して、正確な発音やアクセントを用いて教	見を述べることができる。 ・相手が話したことに対して質問をしたり、答 えたりしながら議論を継続することができる。 ・順序や論理展開を意識してまとまった分量の 文章を書くことができる。	積極的に参加することができる。 ・文化・歴史・社会等の課題について積極的に 考え、自らの生き方の向上に取り組むことがで

			領域話話話			ŧ					П	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読		話[発]		評価規準	知	思	態	配当時数
	1 How should we lead a healthy lifestyle? 人々が抱える健康の問題や健康のための習慣について議論することができる。 危健康の問題や健康のための習慣について長めの意見を述べることができる。 砂糖税の導入について意見文を書くことができる。	• <del>数</del>	0	0	0	0	0	1. 評価の観点 【知識・技能】外国語の学習を通じて、言 語の働きや役割などを理解している。 外国語の技能(話すこと、書くこと)に ついて、実際のコミュニケーションにお いて活用できる知識・技能を身に付けて いる。		0	0	3
		・指導事項 UNIT2 ・教材 FACT BOOK English Logic & Expression II ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【思考力・判断力・表現力】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりしている。 間いたり読んだりしたことなどを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現している。	0	0	0	3
1	定期考査			0				【主体的に学習に取り組む態度】他者を 尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き	0	0		1
字期	3 What are good and bad sides of urbanization? 大都市で起きている問題について議論することができる。 大都市で起きている問題について長めの意見を述べることができる。 できる。 都市化が及ぼす影響について意見文を書くことができる。	FACT BOOK English Logic & Expression II ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとている。	0	0	0	3
	る。 都市問題を解決する方法について議論することができる。	・指導事項 UNITA ・教材 FACT BOOK English Logic & Expression II ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) パフォーマンステスト:発表(スピーチ・プレゼンテーション)・ディベート・ディスカッション	0	0	0	3
	定期考査			0				(c) ノート・ワーク・レポート等の提出物	0	0		1

	5 Which should get more priority: culture or the environment?  野生生物保護公園の成功事例について議論することができる。  野生生物保護公園の成功事例について長めの意見を述べることができる。 環境保護のあり方について意見文を書くことができる。  6 How to live a plastic-free life	・指導事項 UNIT5 ・教材 FACT BOOK English Logic & Expression II ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	<ul> <li>(d) ベーパーテスト: 小テスト・定期考査等</li> <li>【評価結果】</li> <li>A (3): おおむね満足できる状況</li> <li>B (2): 十分満足できる状況</li> </ul>	0	0	0	3
	の Now to Tive a plastic Title Title Title ブラスチックパッケージの代替素材について聞いた情報をもとに説明することができる。 ブラスチックパッケージの代替素材について議論することができる。 ブラスチックごみ削減を促進する企画を提案するメールを書くことができる。 □	UNIT6 ・教材 FACT BOOK English Logic & Expression II	0	0	0	0	0	C (1): 努力を要する状況	0	0	0	3
2	定期考査			0					0	0		1
学期	7 Helping others at home and abroad NGOの活動について情報を共有しながら議論することができる。 NGOの活動について長めの意見を述べることができる。 海外の国際機関で働きたいかどうかについて意見文を書くことができる。	・指導事項 UNIT7 ・教材 FACT BOOK English Logic & Expression II ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0		0	0	0	3
	8 Challenges to equality ジェンダー平等について聞いた情報をもとに説明することが できる。 女性のクオータ制が必要かどうかについて議論することがで きる。 海外の大学への志望理由書を書くことができる。	• 粉/ **	0	0	0	0	0		0	0	0	3
	定期考査			0					0	0		1
	9 Produce locally, consume locally 地産地消の利点について議論することができる。 地産地消の利点について長めの意見を述べることができる。 地産地消について意見文を書くことができる。	・指導事項 UNIT9 ・教材 FACT BOOK English Logic & Expression II ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0		0	0	0	3
3 学期	10 Sharing as one way to create new value シェアリングエコノミーについて聞いた情報をもとに説明す ることができる。 シェアリングエコノミーについて事例をもとに議論すること ができる。 学校で始めてほしいシェアリングサービスについての要望書 を書くことができる。	・教材 FACT BOOK English Logic & Expression II	0	0	0	0	0		0	0	0	3
	定期考查			0					0	0		1
									•			合 計 35

・語された内容の概要・要省を関き取ることができる。
- ある分量の英文を接がて、その大意を読み取ることができる。
- おも分量の英文を接がて、その大意を読み取ることができる。
- 日曜手を展研できる。17日本間の日の意見を述べることができる。
- 日曜子始展研究を重視してよどまったが重の実をを表でことがら関係を聴転することができる。

・ 英語で進められる投棄に参加し、言語活動に積極的に参加することができる。 【学びに向かう力、人間性等】・文化・歴史・社等の実践について積極的に考え、自らの生き方の向上に取り組むことができる。 ・自己の李音を乗り返り、常に改善。 同上の態度を持つことができる。

科目 英語コミュニケーション皿 の目標: 【知識及びは辞】 【思考力、判所力、表現力等】

【知識及び技能】	【芯考刀、刊町刀、衣現刀寺】	【子びに叩かうガ、人間性寺】
・日本や外国の生活や文化に関する480語程度の		
説明文を読んで、理解することができる。	を挙げて意見を述べることができる。	に積極的に参加できる。
<ul><li>人物や地域についての説明などを聞き、情報</li></ul>	<ul><li>自分の関心のある事柄に関して、簡単な発表</li></ul>	
や考えなどの概要や要点をとらえることができ		現活動に積極的に参加できる。
<b>る</b> 。		<ul><li>・外国の生活や文化を理解し、多様な価値観を</li></ul>
<ul><li>人物や地域についての発表を聞き、相手の意</li></ul>		受け入れようと心がけることができる。
見や考えを理解できる。	・学習した題材に関して発展的に情報を調べ	<ul><li>・自国の文化を理解し、外国の人々にわかりや</li></ul>
<ul><li>英語の授業で学習した題材に関して、聞いて</li></ul>	て、短いエッセイにまとめることができる。	すく説明しようと心がけることができる。
内容を理解できる。		

				H		語	話				L		702 -01
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		闡	読	[4]	元元	#	評価規準	知	思	態	We 50 a
	安や安息を使える。 (修わこと) イギリスの小さか町の町セニ!	・指導事項 Lesson1 ・数材 LANDMARK Fit English Communication III Target1900 ・一人1台端末の活用	等	0	0	0	0	0	「抽象などが起」 「加象を対しているのある地域の活動についての増削や考えなどを払いて伝えるためになるなお解しませます。 「は、	0	0	0	
	関係とよう。血液性物質が多層について の金を扱いて、変質や関係を増生されて 質が増加えた様とも、 の大・レス・レス・レス・レス・レス・レス・レス・レス・レス・レス・レス・レス・レス・	・指導事項 Lesson2 ・教材 LANDMAK Fit English Communication III Target1900 ・一人1台端末の活用	等	0	0	0	0	0	参いたり並にかりしている。 「加森及び日本」 (加森)日本の最近についての情報や考えなどを紡 にかなるから、と伝えらかして、投資としまり、 は使じ、自身の最近についての情報や考えなどを摘 は変し、自身の最近についての情報や考えなどを自 自身の承載について、の情報とでもなど。 日の本の表述について、対策してもらえるよう。 ほどのようながあれている。 「はずるようなどを見からない。」 はでは、はないでは、はないでは、 はないでは、ないでは、 はないではないでは、 はないではないでは、 はないではないではないでは、 はないではないではないではないではないではないではないではないではないではないで	0	0	0	
	定期考査									0	0		l
4	単くこと、生物を軽減した製造で同じてもっかくがイオとカインの側について、大型の関係を開き、製造で製造を登まる。 できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる できまる	・指導事項 Lesson3 ・教材 LANDMARK Fit English Communication III Target1900 ・一人1台端末の活用	<u> </u>	0	0	0	0		「知識及び存在」 「いっぱい」は、「いっぱいいっぱい。」は、「いっぱい」は、「いっぱい」は、「いっぱい」は、「いっぱい」は、「いっぱい」は、「いっぱい」は、「いっぱい」は、「いっぱい」は、「いっぱい」は、「いっぱい」	0	0	0	
	(個人により) 名前の呼び対や日本におけるが 個人により) 名前の呼び対や日本におけるが 動いで、必要な情報を働き取り、概要や電力に を表える。と、対すっなかっコットである。 のいて書かれた文章を扱いで、大章の場面や よったので、一点では、一点では、 大力が存むしいべて、他のを機打る。 大力が存むしいべて、他のを機打る。 大力が存むしいべて、他のを機打る。 大力が存むしいべて、他のを機打る。 大力が存むしいべて、他のを機打る。 大力が存むしいべて、他のを機打る。 大力が存むしいべて、他のを機打る。 大力が存むしいで、他のを機打る。 大力が存むしいで、他のを機打る。 大力が存むしいで、他のを機打る。 大力が存むしいで、他のを機打る。 ので、サービストンで、はた シードンで、は、 シードンで、は、 なのいラケッフがら、他ので、単して、 を取りて、 ので、サービストンで、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 ので、 の	- 指導事項 Lesson4 ・教材 ・教材 LANDMARK Fit English Communication III Target1900 ・一人1台端末の活用	等	0	0	0	0	0	【知識及び整形】 オポティクルコレクトネスに ついての情報や考えなどを招して招えるために必要 の場合や現象を得取している。 かっしたり トネスに いなの。 情報で考えなどを指定性に注意して詳しく コールでの情報で考えなどを編集性に注意して詳しく はって知ると対象とは行けている。 また「選手」であった別であるという。 また「選手」であった別である。 また「選手」であったのかった。 編集性に注意して は、「選手」であったのかった。 編集性に注意して でおったが、「製手」であったのかった。 は、「選手」であったのかった。 は、「選手」であったのかった。 は、「選手」では、「スタート」であった。 は、「選手」では、スタート」では、 、	0	0	0	
	定期考查									0	0		
	「成力」と 「人工スと数数向性の高度対策に いいて参加れた変を変化で、必要が情報を 終み取り、文章の展開や着手の意図、 頻 要点、詳細を投える。 (紹介とこうで、自然を対している。 「紹介とこういて、自然を対している。 「紹介とこういて、自然を対している。 「紹介とこういて、自然を呼べる。」 「「紹介と同じ、「「「「「「「「「」」」 「「「「「」」」 「「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「「」」 「「」 「	LANDMARK Fit English Communication III Target1900 ・一人1台端末の活用	等	0	0	0	0	0	「知識及び存在」 「知識」の必要が事業についての情報や考えなどを して伝えらからどの変な振奏で表現と理解してい して伝えらからどの変な振奏で表現と理解してい (機能) 可の支援についての情報や表えどを はないない。 になっ、物理力、変力が 変別が考えく解析としては、とは、となっないもの 変別で与えく解析としておして、となっないもの がしていましていましていましてもちらるよ に、過程性に対するによりによっている。 がし、過程性に対するといるである。 がしていましていまります。 がしていましていまります。 がしていましていまります。 は、過程性に対するといまして、無対しになっている。 がしていまります。 は、過程性に対するといまして、無対しているからない。 はので考える様をましていまり、 は、これでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	0	0	0	
	(親くこと) 率い中利用者や中途間がい着についてのの途を除いて、の実力が開発を除さな。 の大力の途を除いて、の実力が開発を除さな (機力とと) 中途域がいめの女性についません。 (機力とし) 中途域がいめの女性についません。 かれた大変を続いて必要な情報を認力なの。 がなった。 (後十と) での変が、情報や考えなどを詳 (後十と) (後男 での変が、情報や考えなどを詳 (後十と) (後男 での変が、情報や考えなどを がらからからないで、情報や考えなどを から歩くなっていて、情報や考えなどを に続けていて、情報や考えなどを (後十と) (後男 での変が、 (後十と) (後男 での変が、 (後子 でん) (後子 でん) (後子 でん) (後子 でん) ( (後子 でん) ( (を) ( (を) ( (を) ( (を) ( (を) ( (を) ( ( を) ( ( を) ( ( を) ( を)	・指導事項 Lesson6 ・教材 LANDMARK Fit English Communication III Target1900 ・一人1台端末の活用	等	0	0	0	0	0	「加速など注意」 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	0	0	0	
台月	定期考査 〈聞くこと〉サンタクロースや音跡的な出来	<ul> <li>指導事項</li> </ul>		L	L				【知識及び技能】	0	0		Ĺ
	3.00、態度や最近を収入を持つりメッマス 特別では、一般では、対象を扱いた。文を表が、 情報を認えなり、文章の影響を書きつきる 情報を認えなり、大なの影響を含まった。 ・ 他表している。 ・ は、一般である。 ・ は、これである。 ・ は、これである。	146から 16885m7・教材 ・教材 LANDMARK Fit English Communication III Target1990 ・一人1台端末の活用		0	0	0	0	0	「地面」を締めた出来事についての情報や考えなど を話して伝えるために姿を返摘を受き返摘して を話して伝えるために姿を返摘を受き返り (技能) 素飾がた出来事についての情報や考えなど 作けてなり。18年5 、実現り等1 の言葉が今まを贈られたこのは、理解してもちえる の言葉が今まを贈られたこのは、理解してもちえる うに、機能性に関しておりた場ではなってい 【字だたのからか、人間で等)であっている。 の言葉が中まるを明られたこのより、理解してもちえる の言葉が中まるを明られたこのまして無してあります。 では、からい、というには、また。 は、また。	0	0	0	
	(関くこと) 水の極的や放燃水を減ら十方法 についての会話を開いて、必要な情報を開き、 あり、概要や変化を捉える。 (成分にと)、世界的な水のた機について書か れたとなるを認た、必要な情報を表示なり、 様本となるを感じますの意思、概念、要からかな。 様本と表である。 を関すことで、単うり、水の地の大の 次の特別について、情報や考えなどを詳しく は、「よことなり、これの地の上がは、	・指導事項 Lesson8 ・教材 LANDMARK Fit English Communication III Target1900 ・一人1台端末の活用	*	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 (知識) 新線的な出来事についての情報や考えなど を書いて伝えるために必要な高量や実現を理解しいる。 (技能) - 新線的な出来事についての情報や考えなど を論理性に注意して複数物が多かから成る文章 (工場力、制度) - 大型(内部) 高線的な出来事についての情報や考えなどを、自分のかのかあるかあるエエトョトド・加速1マルモリンのがの形成かるかある。	0	0	0	

	は、これのリバッなって転りが、 「話すとと見来、やり取り」)世界的な水 の危機の対抗が強いて、情報や考えな を機能が正く話して伝えたり、伝え かったと、世界的な水の危機への対抗力は について、情報や考えなどを、複数のハラグ ラブから成る文章で論理的に詳しく書いて伝 定期考査								○単語でするな事ですたとなると問題とよりなな ように、簡単性に達定して複数のアグラフから成 る文章で詳しく事いで伝えている。 日子びた向からり、人間信等 日子びたのからり、人間信等 日子が大きないでは一般であるなどを、自分 の意識でも遅せいでは、大きなのファグラットの の意識でも遅せいます。となるのファグラットの もなっては、大きないでは、大きないでは、 大きないでは、大きないでは、大きないでは、 大きないである。 日本のでは、大きないでは、大きないでは、 日本のでは、日本のでは、日本のでは、 日本のでは、日本のでは、日本のでは、 日本のでは、日本のでは、日本のでは、 日本のでは、日本のでは、 日本のでは、日本のでは、 日本のでは、日本のでは、 日本のでは 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので 日本ので	0	0		1
3	・	・指導事項 Lesson9 ・教材 Lesson9 ・教材 LADMARK Fit English Communication III Target1900 ・一人 1 台端末の活用	等	0	0	0	0	0	「物産をプロ報告」 「物産を受ける。 「物産を受ける。」 「のでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	0	0	0	7
													合 計 63

年間授業計画 新様式例

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外 【思考力、判断力、表現力等。国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを 活用し適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等; 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体 の、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理 · 表現Ⅲ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		英語を通じて、積極的にコミュニケーション
	などを多様な観点から考察し、論理の展開や	を図ろうとする態度を育成するとともに、コ
背景にある文化などを理解している。		ミュニケーションに関心をもち、積極的に言
		語活動を行い、コミュニケーションを図ろう とする。
		290.

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	ge	9.0	話	話		評価規準	知	思	態	W IIC DI
		10.00.00.00	聞	読	やし	発	書	【知識及び技能】				*
	ALに発表がつくてかられたい権威について適 に合うことができる。れたい権威について意 はに発表のではクラクを名。ことができる。 出に存来表のではクラクを名。ことができる。 レゼンケーションをすることができる。	・相等事員 Lessoni 教材 FACTBOOK English Logic and Expression III Next Stage NEO現代を読む・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	意見型のハラグラフの機能や生こで使われる表現を 無解し、適似に指することができる。 【思考力、無解力、表現力等】 「思考力、無解力、表現力等」 は、一般である。 「学びに向から力、人間性等」 バックラフを書こうとしている。	0	0	0	
	自身が成長した経験について詰し合うことが できる。 は最後とした経験について描写するパラグ ラブを書くことがある。 自身が成長した経験についてヌピーチをする ことができる。	・指導事項 Lesson2 ・数材 FACTBOOK English Logic and Expression III Next Stage NEO現代を読む ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【物職及び民能】 説明・福学館のパッグラフの構成やモニで使われる 説明・福学館のパッグラフの構成やモニで使われる を見ない。 本のに係けることができる。 海外で成功した日本人を紹介するパッグラフを書く ことができる。 【学びに向かうか、人間性等】 利分で成功した日本人を紹介するパッグラフを書こ うとしている。	0	0	0	
1	定期考査								0	0		l
好明	ニュースサービスの利用状況のグラフについて話し合うことができる。 で話し合うことができる。 ニュースサービスの利用状況のグラフを設明 ナカベラグラフを書くことができる。 ソーシャルメディアの問題名についてディス カッションをすることができる。	・指導事項 Lesson3 ・数材 FACTBOOK English Logic and Expression III Next Stage NEO現代を設む - 一人1台編末の活用 等	0	0	0	0	0	「物職及び印鑑」 グラフ説明県(集製)のバラクラフの構成やそこ で使われる現を信頼 1、週回に活用することがで しまわ、物助、数型/等 1 日本における学士の留学系のグラフを提明するバラ グラクを養こことができた。 またにおける学士の留学系のグラフを提明するバラ グラフを書こうとしている。 クラフを書こうとしている。	0	0	0	
	環境権の万事を見つけたられば、減少特徴 では、ことができる。 電影を選りが持たといってたいば、30の特徴 を関係を選りが持たといってたいば、30の特徴 と比較するパラダンを変でとよができる。 人々が環境保護のためにできる。 とじついて スピーチをすることができる。	・指導事項 Lesson4 ・数材 FACTBOOK English Logic and Expression III Next Stage NEO現代を設む - 一人1台編末の活用 等	0	0	0	0	0	「職職及び部制」 比較、対性間(比較)のパラグラフの構成やそこで 能力れる実施を開発し、適切に所用することができ (と思わ、報酬が、数数人等目 実家・シェアハウス・一人幕もしを比較するパラグ フを書こことが、入制性等) 「ないにおかりた、人制性等) フクを書こうとしている。	0	0	0	
	定期考查								0	0		H
	キャンションス条件の最大の利益との利益 たっかで語した。と述べきる。 たっかでは、ロースを表の音をの開設とその利益 を対すがタウクを書くことができる。 キャンションス洗剤の着をの原設とその利益 についてスピーチをすることができる。	・指導事項 Lesson5 ・数材 FACTBOOK English Logic and Expression III Next Stage NEO現代を設む - 一人1台編末の活用 等	0	0	0	0	0	「物議及び接触」 原理: 補業用のパラグフつの構成やそこで使われる 素度を提解し、適切に採用することができる。 日本力、物助、表現力等を表現の機能 日本力、中間が、表現力等を表現を を対していませない。 日本プラグラグラグを含くことができる。 日本プラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグラグ	0	0	0	
	意品施加物の摂象について落し合うことができる。 まる。 あるがあり無限について養老の意見を述べ を通過グラクを表できることができる。 産品加加や所限についてディベートをする ことができる。	・指導事項 Lesson6 ・数材 FACTBOOK English Logic and Expression III Next Stage Nou現代を読む ・一人1台編末の活用 等	0	0	0	0	0	国施及に対象) 証拠を関係的のパラグラフの機械やそこで扱われ を実施を機能し、適切に信用することができる。 日息力、機能が、表現力等引 日息地を外性を必要ないて変見を述べるパラ 「学化に向うう」、影響を制 日息機能をが推撃の走廊について変見を述べるパラ プラブを書ううとしている。	0	0	0	
2	定期考査								0	0		L
钥	日本文化を参判的に限明する方面について語 し合うことができる。 中本文化を参加的に限明したがら紹介するバ 中文化を参加的に限明したがら紹介するス 日本文化を参判的に限明しながら紹介するス ビーチをすることができる。	・指導事項 Lesson7 ・数材 FACTBOK English Logic and Expression III Next Stage NEO現代を読む・ ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【知識及び経験】 説明・描写限のパッグクラフの構成やそこで使われる 表現を光明し、場切に信用することができる。 自分の影響が開発したの様が的な服所を説明するパッ グラフを養しことができる。 【学びに向いう力、人間性等 のうの影響が出来る他が的な場所を説明するパッ グランを影響が出来る他がのな場所を説明するパッ グランを影響が出来る他がのな場所を説明するパッ グランを参加しまった。	0	0	0	
	エネルギー構成化を示すグラフについて話し 合うことができる。 エネルギー構成化を示すグラフを提明するバ スネルギー機能化を示するク フネルギー機能とを示すグラフについてス ビーチをすることができる。	・指導事項 Lesson8 ・数材 FACTBOOK English Logic and Expression III Next Stage NEO現代を読む ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	「助政上が課題」 グラクス報用を「機能要別」のパラグラフの構成やよって使わる表現を理解し、選問に活用することが さる。 「無い」を表現をは なの、現場が、表現が第一次である。 大型が なが、投資があり時代別グラフを提明するパラグラフ を称ったが、表現が第一次である。 「またい」の 「学校にの場合から、人間性等」 などの場合かられている。 「学校にの場合からがありが、またい。」 を含ったとなった。	0	0	0	
	定期考査								0	0		
3	電子解析書上紙の解析書の施いについて試し 合うことができる。 電子解析書上紙の解析書を対比するパラクラ 7を書くことができる。強いについてス ビーチをすることができる。	・指導率項 Lesson9 ・教材 FACTBOOK English Logic and Expression III Next Stage ROUGH(や読む・ ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	「知識及び評談」 比較、対比性(対比)のパラグラフの構成やそこで 能される保険を無難し、適切に活用することができ 足参れ、実施が、表現分等1 のかの交通機能と最小の交通・円径や打たすがファ 「学でにからか、人間性等1 公内の交通機能は成んの交通・円径を対比するパファ ファを差しませたがある。	0	0	0	
朝												7- 100

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和6年度(3学年用) 教科 外国語 科目 英語会話

教 科: 外国語 科 目: 英語会話 単位数: 2 単位

対象学年組:第 3 学年 V群 教科担当者: ( 杉山 )

使用教科書: ( My Passport English Conversation

教科 外国語 の目標:

外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、 【知 識 及 び 技 能 】読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて 適切に活用できる技能を身に付ける。

)

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語 【思考力、判断力、表現力等】で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用し適 切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かうカ、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

## 科目 英語会話

の目標:

【知識及び技能】        【思考力、判断力、表現力等】       【学びに向かう力、人間性等】	
・相手の話を聞いて理解するとともに、場面や 目的に応じて適切に応答する。 ・リズムやイントネーションなどの英語の音声 的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意し ながら聞いたり話したりすること。 目的に応じて適切に伝える。 ・聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経 は話題について会話する能力を養う。 は話りしたことに基づき、情報や考えなどを場面や 目的に応じて適切に伝える。	

			領域						1		$\overline{}$	
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	話[や]	話[発]	書	評価規準	知	思	態	配当時数
	日本元 【知識及び技能】 日常会話等有の言い回しやジェスチャーなど、実践的なコミュニケーション手段の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常会話終有の言い回しや、ジェスチャーなど の非言語のミュニケーション手段を、場面や目的に応じて適切に用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する。	・指導事項 Lesson1 ・教材 My Passport English Conversation ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 日常会話の中の情報を誤解なく把握できる。 自己紹介に関する基本的な会話を読んで、正しく理解す ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文を使って、「紹介する」「職業をたずねる」こ とができる 該み手が読めるようなわかりやすい文字が書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 間違いを恐れずに、最後まで英語を使おうと努めてい る。	0	0	0	4
1	A 単元 [知識及び技能] 日常会話特有の言い回しやジェスチャーなど、実践的なコミュニケーション手段の役割を理解する。 [思考力、判断力、表現力等] 日常会話特有の言い回しや、ジェスチャーなどの非言語的コミュニケーション手段を、場面や目的に応じて適切に用いる。 「達好に向かう力、人間性等] 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する。	・指導事項 Lesson2 ・教材 My Passport English Conversation ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 ホテル内の会話のやりとりで情報を誤解なく把握できる。ホテルにおける基本的な会話を読んで、正しく理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「時間をたずねる」ことができる。 「必ずいごさる。 「必ずいごさる。 「と呼いに向から力、人間性等】 関連いを恐れずに、最後まで英語を使おうと努めている。	0	0	0	4
- 学期	A 単元 【知識及び技能】 日常会話特有の言い回しやジェスチャーなど、実践的なコミュニケーション手段の役割を理解する。 「思考力、判断力、表現力等】 日常会話特有の言い回しや、ジェスチャーなど の非言語的コミュニケーション手段を、場面や 目的に応じて適切に用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、 会話する。	・指導事項 Lesson3 ・教材 My Passport English Conversation ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 観光案内所のやりとりで情報を誤解なく把握できる。 観光案内所における基本的な会話を読んで、正しく理解 することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文を使って、「行き方をたずねる」「所要時間を たずねる」ことができる。 読み手が読めるようなわかりやすい文字が書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 間違いを恐れずに、最後まで英語を使おうと努めてい る。	0	0	0	6
	展 単元 【知識及び技能】 日常会話勢有の言い回しやジェスチャーなど、実践的なコミュニケーション手段の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常会話約有の言い回しや、ジェスチャーなど の非言語的コミュニケーション手段を、場面や 目的に応じて適切に用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 「海外での生活に必要な基本的な表現を使って、 会話する。	・指導事項 Lesson4 ・教材 My Passport English Conversation ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0		【知識及び技能】 新便局や銀行のやりとりで情報を誤解なく把握できる。 郵便局や銀行のやりとりで情報を誤解なく把握できる。 解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文を使って、「希望を伝える」「提案する」こと ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 間違いを恐れずに、最後まで英語を使おうと努めている。	0	0	0	6

	A 単元 【和級及び技能】 日常会話特有の言い回しやジェスチャーなど、実践的なコミュニケーション手段の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】日常会話特有の言い回しや、ジェスチャーなどの非言語的コミュニケーション手段を、場面や目的に応じて適切に用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する。	・指導事項 Lesson5 ・教材 My Passport English Conversation ・一人1台端末の活用	等	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 飲食居のやりとりで情報を誤解なく把握できる。 飲食居における基本的な会話を読んで、正しく理解する ことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文を使って、「注文する」「料金をたずねる」こ とができる 読み手が読めるようなわかりやすい文字が書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 間違いを恐れずに、最後まで英語を使おうと努めてい る。	0	0	0	5
2	A 単元 【知識及び技能】 日常会話特有の言い回しやジェスチャーなど、 実践的なコミュニケーション手段の役割を理解 する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常会話特有の言い回しや、ジェスチャーなど の非言語的コミュニケーション手段を、場面や 目的に応じて適切に用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 確外での生活に必要な基本的な表現を使って、 会話する。	・指導事項 Lesson6 ・教材 My Passport English Conversation ・一人1台端末の活用	等	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 店のやりとりで情報を誤解なく把握できる。 店における基本的な会話を読んで、正しく理解すること ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文を使って、「サイズや色をたずねる」「試着許可を求める」ことができる 読み手が読めるようなわかりやすい文字が書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 間違いを恐れずに、最後まで英語を使おうと努めている。	0	0	0	5
学期	A 単元 【知識及び技能】 日常会話特有の言い回しやジェスチャーなど、 実践的なコミュニケーション手段の役割を理解 する。 「思考力、判断力、表現力等】 日常会話特有の言い回しや、ジェスチャーなど の非言語的コミュニケーション手段を、場面や 目的に応じて適切に用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、 会話する。	・指導事項 Lesson7 ・教材 My Passport English Conversation ・一人1台端末の活用	等	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 駅などでたずれる時に情報を誤解なく把握できる。 駅における基本的な会話を読んで、正しく理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文を使って、「場所をたずねる」「アドバイスをする」ことができる 話み手が読めるようなわかりやすい文字が書ける。 【学びに向から力、人間性等】 間違いを恐れずに、最後まで英語を使おうと努めている。	0	0	0	6
	日 単元 【知識及び技能】 日常会話特有の言い回しやジェスチャーなど、実践的なコミュニケーション手段の役割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日常会話特有の言い回しや、ジェスチャーなどの非言語的コミュニケーション手段を、場面や目的に応じて適切に用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、 会話する。	・指導事項 Lesson8 ・教材 My Passport English Conversation ・一人1台端末の活用	等	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 病院や薬局での会話で情報を認解なく把握できる。 病院や薬局での会話で情報を認解なく把握できる。 病院や薬局でおける基本的な会話を読んで、正しく理解 することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文を使って、「相手の様子をたずねる」「言いか える」ことができる 該み手が誘めるようなわかりやすい文字が書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 間違いを恐れずに、最後まで英語を使おうと努めてい る。	0	0	0	6

【思考力、判断力、表現力等】 日常会話特有の言い回しや、ジェスチャーなど の非言語的コミュニケーション手段を、場面や 目的に応じて適切に用いる。 【学びに向かう力、人間性等】 海外での生活に必要な基本的な表現を使って、 会話する。	・指導事項 Lesson9 ・教材 My Passport English Conversation ・一人1台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【知識及び技能】 友達を誇う会話の中の情報を誤解なく把握できる。 友達と哲学について話す基本的な会話を読んで、正しく理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 簡単な文を使って、「誘う」「念を押す」ことができる 読み手が読めるようなわかりやすい文字が書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 間違いを恐れずに、最後まで英語を使おうと努めている。	0	0	0	4
											合 計 46